



VPR08-048

2008年10月20日(月)

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社

「フォルクスワーゲン フェスト 2008 イン 富士スピードウェイ」 過去最高の来場者数 10,800 人を記録

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社(代表取締役社長:ゲラシモス ドリザス、本社:愛知県豊橋市)は、10月19日(日)、今年で6回目となる自動車インポーター最大級のカスタマーイベント、「フォルクスワーゲン フェスト 2008 イン 富士スピードウェイ」を開催し、過去最高の来場者数 10,800 人(4,200 台)を記録しました。

さわやかな秋空の下、行われた同イベントでは、さまざまなアトラクションが用意され、メインステージの目玉として、年内発売予定の新型モデル「パサート CC」が登場しました。正式発表より一足早く、フェストにお越しいただいたお客様に公開され、ドリザス社長から「運転する楽しさと同時に、上質な雰囲気と快適な乗り心地を感じてもらえるパーソナルなコンフォートクーペ」と紹介されました。

会場の中央では、ラフロードを模した特設コースで、10月に発売されたばかりのコンパクトSUV「ティグアン」の性能を体験できる「Tiguan スチールジャングル」(同乗試乗)が実施され、ティグアンのダイナミックな走りを一度体験してみようとする人の列が、一日中途絶えることなく続きました。

また、フォルクスワーゲンが昨年より開催している「フォルクスワーゲン ドライビング エクスペリエンス - Eco Drive Training -」を、今回初めて同イベントの一環として実施しました。同時に行われたメインサーキットでの「スポーツ走行」や、400 台が参加した「パレードラン」と同様、事前申し込みの応募者数は定員を大幅に上回り、好評のうちに終了しました。

家族連れやペット連れが多かったのも今回のイベントの特徴で、フォルクスワーゲンのラインアップとともに記念写真を撮ったり、ニュービートルのペダルカーやゴルフのラジコンカーで遊んだり、愛犬と一緒にドッグレースに出場したりと、ご家族そろって楽しむ姿が目立ちました。

フォルクスワーゲン フェストは、2000年に初開催され、今年で6回目を迎えました。来場者数も初回の5000人(3,000台)から、2001年には8,200人(3,500台)、2002年に8,500人(4,000台)と順調に伸びており、2004年には10,100人(4,300台)と初めて1万人を突破しましたが、今年はそれを上回り、来場者記録を更新しました。

「フォルクスワーゲン フェスト 2008 イン 富士スピードウェイ」の写真は、プレスサイト(<http://www.volkswagen-press.jp/>)の「広報写真」-「Events」-よりダウンロードしていただけます。